

## 第1回 柳原地区まちづくり協議会概要

議 題	第1回 柳原地区まちづくり協議会		
日 時	令和6年(2024年)2月29日(木) 開催	場所等	千住あずま住区センター 4階会議室
出席者	足立区 (事務局)	足立区建築室長 1名 足立区建築防災課(以下、「区」という。) 4名 千住区民事務所 1名 千住消防署(以下、「消防署」という。) 2名 コンサルタント(総合環境計画) 3名	
	参加者	協議会会員 12名(リモート参加者なし)	
資 料	資料1 協議会員について 資料2 協議会会則等について 資料3 防災まちづくり計画(案)説明会 防災街区整備地区計画(素案)説明会の報告 資料4 防災まちづくり計画について 資料5 今後のスケジュールについて		
項番	議事・意見要約		
1	<b>協議会下川会長 挨拶</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳原地区が防災について非常に脆弱であるということは、多くの住民に認識されている。</li> <li>・この協議会では、皆様の財産に関する制限も設けることになるので、総論賛成、各論反対といった形になりやすく、難しい問題であると認識している。</li> <li>・また、成果を出すには相当の年数がかかることが予想されるので、町の将来を担う若い世代の方にも参加していただきたいと考えている。柳原地区が少しでも良い方向に変わっていければと思うので、協力をお願いしたい。</li> </ul>		
2	<b>足立区建築室田中室長 挨拶</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪これまで勉強会を重ね、今回協議会が発足できたことは、協議会員の皆様のお力添えがあり、大変喜ばしく思っている。</li> <li>▪柳原地区のまちづくりに関しては、昨年度から道路の拡幅計画の沿道の方との意見交換会、昨年12月から今年1月にかけての防災まちづくり計画(案)の説明会、地区計画(素案)の説明会を重ねてきた。</li> <li>▪今後も区では説明会やまちづくりニュースの発行などにより、周知活動を行っていく。引き続き、会員の皆様にお力添え頂きたく、宜しく願いしたい。</li> </ul>		

3	<p><b>連絡事項【区】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会資料、議事概要について、参加協議会員からの異議はないため、HPに公開する。</li> <li>・来年度上旬に防災生活道路1～6号沿道住民等を対象に建替え相談会を行う。第2回協議会で相談会の内容報告を行う。</li> </ul>
4	<p><b>協議会の会議の公開について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会は基本的に公開にしたらどうか。我々は選挙で選ばれたわけではない。住民に自分事として捉えてもらうことが重要。</li> <li>・会場に来て参加ではなく、Webなどでリアルタイムに参加できるようにするとよい。</li> <li>・あとで、ビデオなどで見られる形もある。</li> <li>・若い人に参加してもらいたいが、町会活動でさえ参加してもらえない。</li> <li>・協議会は今日が初めてで、どのような議論を進めるかも明らかになっていない。今後動き始めて活動の方向性が定まっていくと思う。</li> <li>・現時点では未だ流動的な部分もあるのではないか。</li> </ul> <p>⇒【区】[資料2]会則第10条の2に「協議会は公開とし、関係住民は会議を傍聴できる」、3「個人情報が含まれる内容を話し合うときは、協議会の承認を得て、非公開とすることができる」となっている。</p> <p>足立区のホームページで協議会の開催予定をお知らせすることはできる。</p> <p>Webなどリアルタイムでの公開など、もう少し皆さんから意見を伺ったうえで公開の方法については考えていくことにしたい。</p> <p>名簿の公開など個人情報の関係は確認する。</p>
5	<p><b>地区計画の告示内容について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区計画の原案で審議され告示される文面には、協議会で議論された内容は反映されるのか。それとも別のものなのか。</li> <li>・どのような形で反映されるのかが共有できると議論が意味のあるものになると思う。</li> </ul> <p>⇒【区】本日の資料3の5ページが地区計画のパンフレットのイメージとなる。</p> <p>地区計画の告示文は、わかりづらいため、素案説明会ではカラーの説明を用意した。</p> <p>具体的なイメージを持っていただくために、他の地区の地区計画の告示事例を議事概要と併せて各会員にお送りする。</p>
6	<p><b>柳原らしさと議論の目的</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柳原の文化を残すことは重要。ただし、最優先は安全なまち、安心して暮らせるまちをつくるということ。</li> <li>・木電気、路地を残せばいいのではなく、雰囲気を残しつつ、より安全な仕組みに切り替えていくといったような議論が重要。</li> <li>・柳原らしさを残すために、安全が犠牲になってもいいという話ではない。どこまで許容していくか、共通認識を持つことが必要。</li> <li>・柳原の文化を残すというだけでなく、具体的な文言として、地区計画にどのように盛り</li> </ul>

6	<p>込んでいくのか議論したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長い時間をかけて協議会をやるからには、安全について議論しつくした形、仕掛け、メニューを具体化したい。</li> </ul> <p>⇒【区】柳原らしさ、路地文化と言うのは、木電気が残っていて、細い路地を曲がると違う道がでてくる空間、人と人のつながりの濃さが作り出す雰囲気、街並みだと思う。</p> <p>勉強会を通じて、柳原地区を安全にするために、必要最低限の道路を広げることで、最低限の安全を確保し、一方で路地文化を残せるものは残そうという方向性となった。</p> <p>柳原らしさの残し方については、並行して別の議論を行っていくものと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（路地文化の話のつづき）月島や法善寺横丁では、42条3項道路などの2m程度の道路を盛り込んでいる事例もある。</li> <li>・柳原地区で何を残したいのか、リスクは何かを考え、皆さんがどのように考えているかを議論することが重要と思う。</li> </ul> <p>⇒【区】資料として配布した「諦めていませんか、我が家の建て替え」は、路地文化が残るような制度である。建築基準法では基本的には4m道路が必要であるが、4m道路に接道しなくても建て替えができる制度。</p> <p>このようなことも路地文化を残す視点では、1つの取り組みと思う。</p>
7	<p><b>防災の考え方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔、柳原稲荷神社が火事になった時に、消防車が非常に多く集まったが、道が狭くて消防車が入れなかった。</li> <li>・柳原では消防車を小さくすることや、消火栓を作る、スタンドパイプの訓練をするなどが必要。</li> <li>・災害の時には、正確な情報の提供がほしい。</li> </ul> <p>⇒【消防署】柳原地区では、スタンドパイプ、可搬式ポンプを使って初期消火を行うことが重要。</p> <p>大震災など普段の活動が難しくなる場合に備えて、協議会で議論を進めることが必要と思う。</p> <p>旭町出張所にはポンプ車が2台ある。1台が4トントラック（標準ポンプ車）、1台が2トントラック（小型ポンプ車）を基本にしたもので、ホースの積載量が異なる。</p> <p>柳原地区では、2トンのトラックが入れる範囲がポンプ車の行ける限界で、その先は人力でホースを伸ばしていくことになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震で輪島市街地が燃えてしまった。地震で水道管が使えなくなったと聞いた。地震を想定した備えはどのように考えているのか。</li> </ul> <p>⇒【消防署】区にまちの中に消火器を整備してもらっているが、震災時を含めて火災の時は初期消火が大切。火災があれば、街頭の消火器を集めて初期消火を行うことが第一。</p> <p>今回の輪島の場合は、地震と同時に津波警報が発令され、地域住民全員が避難して、初</p>

	<p>期消火をする住民の方々がいないという、非常に悪いタイミングが重なったことも要因と聞いている。</p> <p>すべてに当てはまるわけではないが、普段からの備えとして、街頭消火器を整備していくことは重要である。</p>
8	<p><b>プチテラスなど具体的な形の実現（見える化）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路地の問題に関連して、プチテラスができれば、高齢者の休憩スペースとして利用したり、燃えない空間が確保できる。</li> <li>・また、プチテラスの地下に防火水槽を設けて、消火に役立てられる。</li> <li>・空き家を買って取ってもらって、プチテラスにして防火水槽ができると非常によい。</li> <li>・このような具体的なテーマをどんどん話し合っ、実現できるものを予算化し形にできていければ、今後協議会の価値も出てくると思う。</li> <li>・長期と短期の施策を並行して進めて、具体的な形になれば、住民にとって効果としては進んでいることが見える、そういう取り組みになると思うので、是非そういう方向に進めたい。</li> </ul>
9	<p><b>まとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の会議内容等の住民周知について、公開する情報、方法を今後の協議事項として検討する。</li> <li>・柳原らしさを残しつつ、地区の安全性を向上させるために地区計画の内容を検討することが望ましい。</li> <li>・災害が発生した場合や地域で火災が発生した場合に備えて、平時から地域で街頭消火器を整備していくことは重要。</li> <li>・地区内の空き家を買って取ってプチテラスにし、防火水槽を設けるなど、協議会で検討した事項が目に見える形で成果が表れる取り組みが出来るような方向として進めたい。</li> </ul>